

退職者医療制度

I 退職して既に国保に入りしている人で厚生年金(国民年金)ではありません。)等の年金の受給権があります。(これは、十年以上ある場合)と被扶養者は、退職者医療制度で医療を受けることができます。

II 既に厚生年金を受給していて、会社を退職する人は、次のものを市役所窓口に持参してください。
 ①退職証明書(あるいは、離職証明書)
 ②厚生年金や各種共済組合の老人(退職年金証書)
 ③印鑑(認め印)

III お医者さんにおけるときの自己負担は?
 ①厚生年金受給者証
 (厚生年金や各種共済組合などの老齢(退職)年金受給者証または通算老齢退職(年金受給者証)
 ③印鑑(認め印)が必要です。
 被扶養者となる人
 ①退職被保険者の配偶者。

事業者の皆さんへ

最近、野焼きなどによる悪臭、大気汚染が各地で目立っています。廃棄物を大量に燃やす場合、焼却施設を設けて処理することが法律で定められています。廃棄物を燃やす時は、適切な処理をするようご協力お願いします。

河川や水路に、ごみ・灰などを流さないようにしましょう。
 ドラム缶焼却炉を河川や水路上沿いに置いている方は、環境保全のため撤去してください。焼却灰は水質汚濁の原因となります。

皆さんのご協力をお願いします。

(事実上婚姻関係と同様の事情にある人も含む。)

②退職被保険者の三親等内の親族で、同じ世帯で主に退職被保険者の収入で生計を維持する人。

※ただし、収入が一定基準を超える人や老人保健法に適用する人は被扶養者にはなりません。

事業所・企画統計調査



十月一日現在で、全国一斉に事業所・企業統計調査が実施されます。

この調査は、統計法に基づいて行われる調査で、全国すべての事業所を対象とした国の中でも基本的な統計調査の一つです。

調査の結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策の立案や民間における事業計画等の策定の基礎資料として、多方面に利用されます。

九月下旬から調査員が各事業所を訪問して、調査票の記入をお願いしますので、調査にご協力ください。

10月1日は
社会生活基本調査

社会生活基本調査は、私たちが普段一日の中でどのくらいの時間を仕事に費やし、どのくらいの時間を自由時間として余暇活動に割り当てるのか、またその内容はどのようなものなのかを調査するものです。

この調査は、社会福祉施策の立案、やとりある生活を送るための施策立案にかかせない重要な資料となります。

抽出された世帯のみの調査となります。が、九月下旬に調査員がうかがいますのでご協力ください。

問合先 商工観光課 統計労政係

問合先 商工観光課 統計労政係

●パソコン講座データベース初級	時 間	午後6時~8時50分
●社会保険労務講座	時 間	午後6時~8時50分
日 程	10月14・15・17・18・21・22・24・25日	22・24・25日
定 員	20人	20人

●社会保険労務講座	時 間	午後6時~8時50分
日 程	10月17・18・21・22・24・28・29日	10月17・18・21・22・24・28・29日
定 員	20人	15人



「地域ふれあい職業相談」
開催のお知らせ

働く女性のための
サポートセミナー

9月14日午後1時30分~3時30分
『仕事と家庭の両立のために』

9月28日午後1時30分~3時30分
『職場と人間関係について』
場所 富士女性センター大研修室
対象 女性50名
申込・問合先 富士女性センター
☎ (45)1666

託児を希望される方は、申込時にご相談ください。

●ワープロ講座・初級2回目	時 間	午後6時~8時50分
日 程	10月3・4・7・8日	10月3・4・7・8日
定 員	20人	20人